

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 **通学**・通信）

事業者名：株式会社ケアサービスひかり

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画	
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数	実施内容
1 職務の理解	6 時間	1 職務の理解	6 時間
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左	3 (講義および演習) 介護保険や介護保険外のサービスを講義で学び、演習では介護保険、介護保険外のサービスをグループ討議等で検討する。
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	3 (2) 講義のみ
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	4 (講義および演習) 人権と尊厳に関する基本知識を講義で学び、演習では「介護と人権」というテーマでグループ討議を行い、検討内容を受講生で共有する
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左	5 (講義および演習) 自立支援について基本的知識を講義で学び、演習は「自立とは何か、自立支援とは何か」をグループ討議等で検討する。
3 介護の基本	6 時間	3 介護の基本	6 時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	2 (1) 講義のみ
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左	1 (2) 講義のみ
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左	2 (講義および演習) 事故予防、安全対策、感染対策について講義で学び、演習では生活障害の心理行動とケア方法をロールプレイで学ぶ。
(4) 介護職の安全		(4) 同左	1 (4) 講義のみ

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度	(1) 同左 3	(1) 講義のみ
(2) 障害福祉制度及びその他制度	(2) 同左 3	(2) 講義のみ
(3) 医療との連携とリハビリテーション	(3) 同左 3	(講義および演習) 医療行為と介護、リハビリテーションの理念について講義で学び、演習にて介護職が行える医療行為等をグループ討議で検討する
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション	(1) 同左 3	(講義および演習) コミュニケーションの基礎知識を講義で学び、演習にてエゴグラムを作成をし傾聴についてロールプレイで学ぶ
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	(2) 同左 3	(講義および演習) チームケアの重要性を講義で学び、演習では受講生同士で模擬カンファレンスを行い、チームケアの実際を体験する。
6 老化の理解 6時間	6 老化の理解 6時間	6 老化の理解
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	(1) 同左 3	(1) 講義のみ
(2) 高齢者と健康	(2) 同左 3	(講義および演習) 高齢者の健康上の諸問題を講義で学び、演習にて日常生活支援全般についての留意点について、グループ討議で検討する。
7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況	(1) 同左 1	(1) 講義のみ
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(2) 同左 2	(2) 講義のみ
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	(3) 同左 1	(講義および演習) 認知症の生活障害、心理、行動等の特徴について講義で学び、演習にて認知症の利用者への対応について、グループ討議し検討する。
(4) 家族への支援	(4) 同左 2	(4) 講義のみ

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

8 障害の理解	3 時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 心身とからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10～13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関する心身のしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50～55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連した心身とからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連した心身とからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連した心身とからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連した心身とからだのしくみと自立に向けた介護	

8 障害の理解	3 時間
(1) 同左	1
(2) 同左	1
(3) 同左	1
9 心身とからだのしくみと生活支援技術	75 時間
ア 基本知識の学習	12 時間
(1) 同左	4
(2) 同左	4
(3) 同左	4
イ 生活支援技術の講義・演習	51 時間
(4) 同左	3
(5) 同左	3
(6) 同左	3
(7) 同左	9
(8) 同左	9
(9) 同左	9

8 障害の理解	
(講義および演習) 障害の概念とICF、障害福祉の基本	
(1) 理念を講義で学び、演習にて、ICFにてについてグループ討議し検討する。	
(2) 講義のみ	
(3) 講義のみ	
9 心身とからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(講義および演習) 講義で介護の基本的な考え方を学	
(1) び、演習ではグループワークで「介護とは」についてと討議し、現時点での介護観を明らかにする。	
(2) 講義のみ	
(3) 講義のみ	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 講義のみ	
(講義および演習)	
(5) 居住環境の整備の重要性を講義にて学び、技術演習にて、ベットメイキングの方法を実技演習する。	
(講義および演習) 整容介助の重要性、更衣介助の基礎知識を講義にて学び、技術演習にて、着替え(更衣)の介助方法を実技演習する。	
(講義および演習) ボディメカニクスに関連した知識・杖や車イスの取扱等に関連する知識を講義で学び、技術演習にて、体位交換・歩行介助・車イスへの移乗の介助方法を実技演習する	
(講義および演習) 咀嚼・嚥下のしくみ、誤嚥や誤嚥性肺炎の予防等の知識について講義で学び、技術演習にて、安全な食事介助の方法を実技演習する。	
(講義および演習) 清潔保持や入浴時の身体の変化等に関する知識を講義で学び、技術演習にて、部分清拭・洗髪の実施方法を実技演習する。	

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 同左	9	(講義および演習) 排泄のしくみや尿失禁に関する知識を講義(10)で学び、技術演習にて、差し込み便器・尿器・ポータブルトイレでの介助、おむつ交換の方法・陰部清拭の方法を実技演習する
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 同左	3	(講義および演習) (11) 睡眠についての関連知識を講義で学び、技術演習にて安眠を促す援助方法(足浴等)を実技演習する。
(12) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	(12) 同左	3	(講義および演習) ターミナル期の身体の変化・エンゼルケア・(12) 家族への配慮等を講義で学び、技術演習ではエンゼルケアの方法のデモンストレーションを見学して実技演習する。
(実習)* (50～55時間中12時間以内)	(実習)* 0 時間		(実習)*
介護実習 ○時間	介護実習	0	
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間	ホームヘルプサービス同行訪問	0	
在宅サービス提供現場見学 ○時間	在宅サービス提供現場見学	0	
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習 12時間		ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	(13) 同左	6	(講義および演習) ICFを活用した介護過程の展開方法(13)について講義で学び、演習にて、ペーパー事例を基に介護過程を展開し実際に学ぶ。
(14) 総合生活支援技術演習	(14) 同左	6	(講義および演習) 利用者の状況に応じた介護が提供(14)できるように、事例に基づいて与えられた課題をグループで検討し、ロールプレイで発表する実技演習を行う。
10 振り返り 4 時間	10 振り返り 4 時間		10 振り返り
(1) 振り返り	(1) 同左	3	(講義および演習) (1) 演習:グループ討議で研修で学べたことを受講生でシェアし、今後の課題を明確化する。
(2) 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	(2) 同左	1	(2) 講義のみ
追加カリキュラム	後見人制度	2	講義のみ
計 (130 時間)	計 (132 時間)		

※「9 ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。